

9月号 中谷自治センターだより

(2012. 9. 01)

発行責任者 センター長 根本 忠 TEL 26-1457 FAX 26-3068

日	曜日	行事予定	備考
1	土	・中谷自治センター・文庫だより発行 ・あすか姫 まちなか朝市 「出店」 8:00	・石川自治センター
2	日		休館日
3	月		休館日
4	火	・ニコニコ会打ち合わせ「第3班」 19:00	・中谷自治センター
5	水		
6	木	・パソコン倶楽部 (A, B) 17:00&19:00	・中谷自治センター
7	金	・敬老会「会場準備作業」 13:00	・中谷自治センター
8	土		
9	日	・第61回敬老会 8:00 受付	休館日 ・中谷自治センター
10	月		休館日
11	火	・ニコニコ会9月例会「第3班」 8:30	・中谷自治センター
12	水		
13	木	・パソコン倶楽部 (C) 19:00	・中谷自治センター
14	金		
15	土	・お祭り	
16	日	・お祭り「久之浜文化交流」 「中田の郷ささら踊り鑑賞」 & 「双里祭典参加交流」	休館日
17	月	・敬老の日	休館日
18	火	・熟年学級「文化祭展示品づくり」 9:00	・中谷自治センター
19	水	・メンスセミナー	・中谷自治センター
20	木	・パソコン倶楽部 (A, B) 17:00&19:00 ・安全パトロール 18:00	・中谷自治センター
21	金	・秋の交通安全運動 ～ 30日まで ・子育てサロン 9:30	・中谷自治センター
22	土	・秋分の日	
23	日	・豊齢学級	休館日
24	月		休館日
25	火	・第一回「文化祭実行委員会」 19:00	・中谷自治センター
26	水		
27	木	・パソコン倶楽部 (C) 19:00 ・レディースセミナー 19:00	・中谷自治センター
28	金	・子育てサロン 9:30	・中谷自治センター
29	土	・親と子の読書会 19:00	・中谷自治センター
30	日		休館日

* パソコン倶楽部 (A) : 2003版 (B) : 2007版 (C) : 応用

平成24年9月号 中谷自治センターだより

活動計画 & 報告

- 1、中谷企画推進委員会「宮城県大崎市 視察・研修」2012/8/1
 - 2、センター施設利用者会「AED講習会」救命処置を学ぶ 2012/8/4
 - 3、更生保護女性会「ミニ集会」 2012/8/24
 - 4、中田里づくり委員会「第二回農業体験交流」 2012/8/26
-

1、中谷企画推進委員会「宮城県大崎市 視察・研修」 2012/8/1

自治センターに移行してから3年が経過しますが地域の自立を目指した地域主体のセンターづくりは未だ道半ばの状態です。今回は『市民が主役協働のまちづくり』を掲げ公民館を地域の核としてまちづくりを推進している「宮城県大崎市岩出山地区公民館」を視察・研修を行ってきました。

大崎市から「形態」は「指定管理者制度」(町から地区民でつく

る組織が業務を受託)を導入。「運営」は地域の文化、歴史、特性等を十分に理解し、地域の課題を解決する機能と運営が必要。更には、移行に当たっては地域との合意形成が不可欠であることなどの説明を受け理解を深めてきました。なお、今後さらに研修を重ねまとめていきたいと思ひます。



写真上は大崎市岩出山地区公民館を「指定管理者制度」で自主運営する岩出山地域づくり委員会のみなさん。



今回の研修会は石川町行政区長会の研修会に合わせて実施。
○枠写真左から各自治センターから参加したみなさん、中央は岡部



双里区長も積極的に質疑に参加。右は前列手前から矢吹信彦谷沢、小湊正文谷地、南條博坂路各区長の姿も見える。



大崎市岩出山公民館に隣接する学問所「有備館」を背景に記念撮影。左から水野勝男さん、小湊保さん、瀬谷豊さん、矢吹恵子さん、酒井朝子さん。外に根本センター長、根本事務長の7名が参加。この後帰路に就き中谷自治センター20:45着で全日程を終了しました。500km超の長旅大変ご苦労様でした。



この伊達正宗公の騎馬像は仙台駅に設置されていましたが平成20年3月に正宗公が青年期の12年間を過ごしたここ大崎市岩出山に移設され、新たなシンボルとして親しまれています。

2、センター施設利用者会「AED講習会」救命処置を学ぶ 2012/8/4

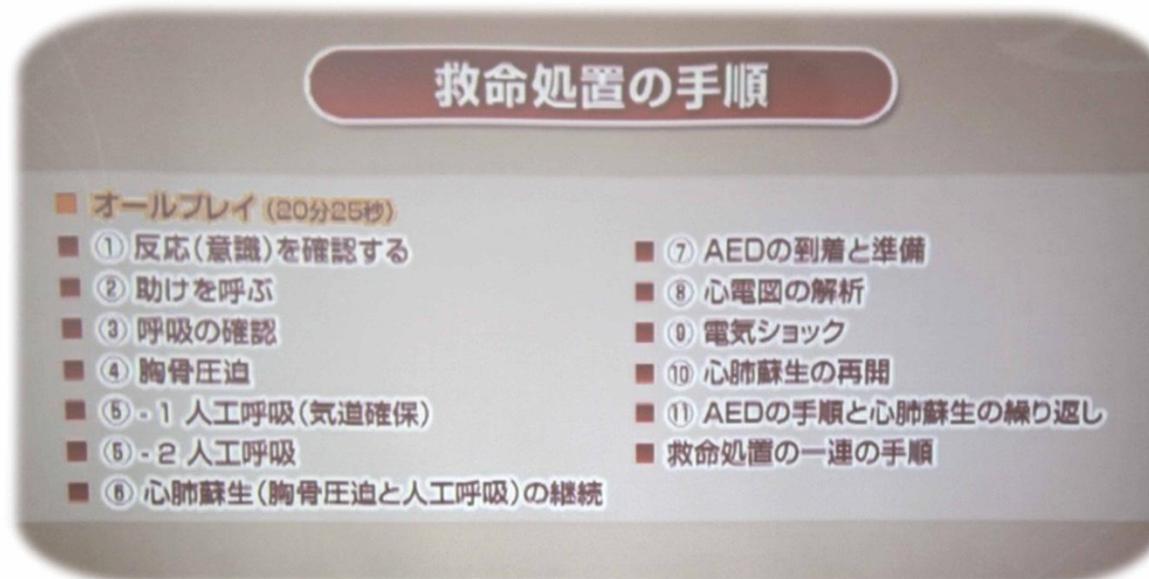
中谷自治センター施設利用者会が「AED（体外式除細動）講習会」を開催。万が一 心停止状態に陥った人に遭遇した時、救急車が到着するまでの間（石川町の場合平均 19 分）の救命処置を学ぼうと 19 名が参加。指導は須賀川地方広域消防石川消防署 鈴木 淳、瀧口 貴博、水野潤樹の三氏。

まず、ビデオで手順や AED の操作要領を視聴。次に人形を使って心停止の確認から 119 番通報・AED の手配、胸骨圧迫・人工呼吸を実施。

AED が到着してから電源投入・電極パットの装着、AED の音声メッセージに従い電気ショックを行うまでを実習。

命に関わるだけにみな緊張した面持ちで受講。

講習会終了後、主催者を代表して瀬谷 豊会長から万が一の時には勇気を持って救命処置に当たってくださいとあいさつ。併せて AED の設置場所（センター玄関内）を確認し合い講習会を締めくくりました。



講師は石川消防署のみなさん



写真左から鈴木 淳氏



滝口 貴博氏



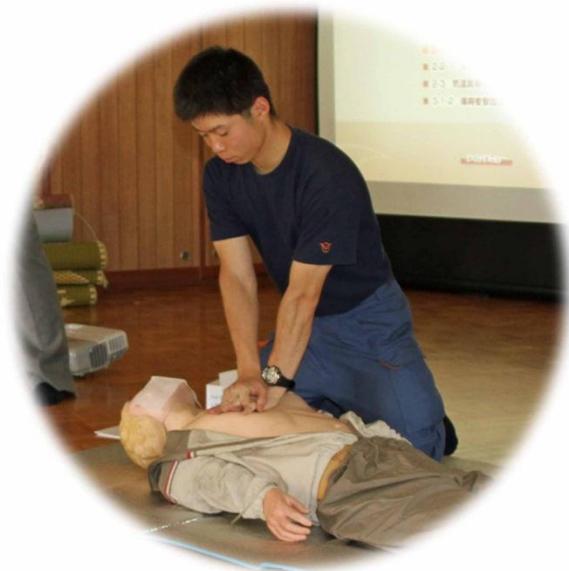
水野 潤樹氏



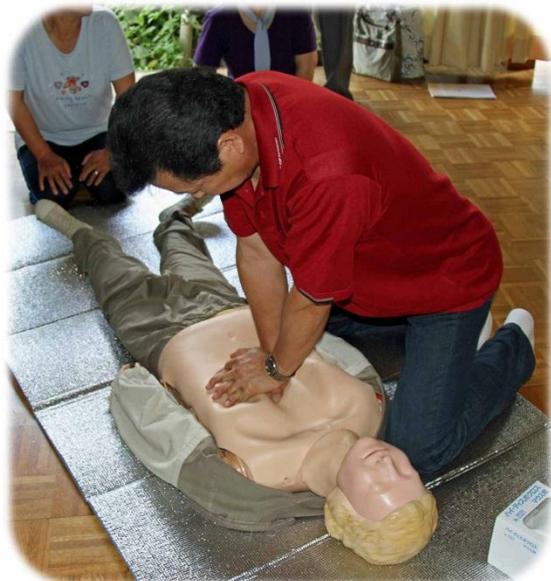
☆講習は人形を使って行われた。参加者の表情も真剣

☆胸骨圧迫（心臓マッサージ）は体重を真上から掛け5cm位胸の中央を圧迫する。

5 / 21



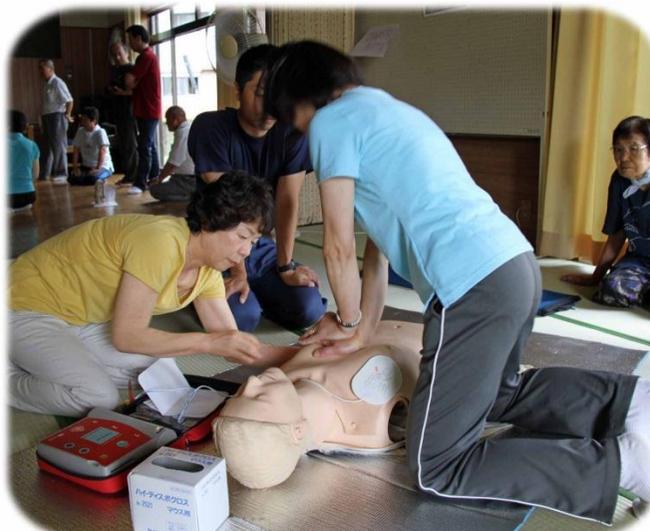
☆胸骨圧迫は1分間に100回のテンポで30回行い、人口呼吸2回実施。これを繰り返す。



☆傷病者に意識がなく、呼吸もない場合に行う心肺蘇生。胸骨圧迫・気道の確保・人口呼吸を繰り返す。



☆AEDの操作。電源を入れ、音声ガイドに従って素肌にパッドを張る。電気ショックが必要という解析が出たら、ボタンを押す。



☆協力者を求めて、心肺蘇生を絶え間なく続けながら、一方の人がAEDを操作する。そして、医療機関へ繋ぐまでが「救命の連鎖」。

最後に、瀬谷 豊会長から参加された皆さんに感謝と万が一の時には勇気を持って救命処置に当たってくださいとあいさつ。



☆中谷自治センターの玄関に設置されているAED



3、更生保護女性会「ミニ集会」 2012/8/24

更生保護女性会（栗原シズイ会長）が「ミニ集会」を開催。9:00から参加者 16 名によるセンターの清掃を実施。10:00 開会、栗原会長から「不安な日々が続きますがこんな時ほど私たちの支えが大切」とあいさつ。その後、岡部 弘一保護司、根本センター長から激励のあいさつがありました。また、石川警察小野寺夏織巡査から福島県及び石川管内の交通事故や刑法犯発生状況と対策について説明。更に、特別講演として

「被害者支援法」について実際にあった殺人事件の被害者が受けた精神的、経済的苦痛を訴えた「詩」を朗読。被害者のやりきれない思いに胸が締め付けられるようでした。最後に、更生に立ち向かう少年とそれを支える保護司のひたむきな取り組みをテーマしたDVDを鑑賞しミニ集会を閉じました。

4、中田里づくり委員会「第二回農業体験交流」

2012/8/26

8 / 21

8月26日、中田里づくり委員会による（中谷まちづくり委員会の震災支援事業）「農業体験交流」は二回目を迎え、久之浜から子供育成会の子供たち14名と保護者・久之浜大久地域づくり協議会のメンバー26名が参加。第一回目の6月17日に植え付け・手入れしておいた中田高野地内の農園でジャガイモやネギ、かぼちゃなどの収穫を行いました。この日は33度を記録する暑さに見舞われ農作業には厳しい条件下でありましたが農園脇に湧き出る清水に喉を潤しながら収穫の喜

びを味わいました。昼食は取れたてのジャガイモ、かぼちゃをメイン食材に地元コピアみなさんが腕を振るって調理、みなさんをおもてなし。それに子供たちのためにと流しそうめんの趣向もあり、冷たい麺の喉越しにしばし暑さを忘れた様子でした。午後は岩谷牧場で搾乳の体験、子牛への授乳やしぼりたての乳牛をつかってバターづくりを体験。子供たちと共に楽しいひと時を過ごし交流を深め合うことができました。関係者のみなさん、協力頂いた皆さんに感謝を申し上げます。



恒例になった豊齡学級の案山子。あたかも久之浜の皆さんを歓迎しているかのようです。（中田古釜地内）

☆手前は第一回目に（6月）植えつけたサツマイモ、葉はご覧の通り一面を覆い畝の判断はつかない程。ネギも中耕 9 / 21
が施され立派に成長。カボチャも蔓がしっかり繁茂しています。中田里づくり委員会のみなさんの手入れに感謝です。



☆準備作業



☆久之浜のみなさんが到着する前にジャガイモのマルチを剥いだり、白菜の植え付け前に湧水で水やりを行う中田里づくり委員会の皆さん

☆久之浜のみなさんが予定通り 10:00 に到着。子供育成会の子供たちと保護者・地域づくり協議会のメンバー40名が参加。



☆中田里づくりのみなさんと収穫作業の手順を説明鈴木 傳さん。



☆収穫作業はジャガイモ堀から。鍬を入れる度に大きなジャガイモが顔をだす。たちまちワゴン一杯になる。



☆33度の猛暑日とあって収穫作業は30分と持たない。水分補給には麦茶と農園協の湧水を用意。

☆次の収穫作業はネギ。中耕が十分に行われ畝が高くなった分ネギの根が深くなり、抜くのに一苦労、二人がかりでやっ
と。



☆髭のような白い根がしっかり付いているのは健康の証、立派なネギです。

☆金山の赤カボチャ、大きさも色づきも申し分ありません。

☆白菜の苗を定植する作業も初体験



☆初体験の子供たちが呑み込みが早い。

☆子供たちの笑顔も収穫ですね。

☆2tトラックはジャガイモ400kgとネギ200kgなどで満載。



☆「久中交友丸」に満載の野菜と子供たちの思い出も収穫。

申田の郷に納まる笑顔



☆11月にはサツマイモ、白菜、大根の収穫があります。お楽しみに！

コピアの手料理に大満足



☆交流農園でとれたてのカボチャやジャガイモがメイン。懐かしいシソの葉おにぎりもあり満足、満腹でした。



☆すばやくそうめんをゲット

☆流れに順方向はすくいづらい。

☆大人も参加。

☆午後の部は酪農体験。搾乳、子牛の授乳、バターづくりに挑戦。

18 / 21

岩谷牧場



まず履物の消毒をしてから施設内に入る



☆写真左から岩谷牧場の獣医で奥さまの岩谷 光代さん、ゆうきちゃん（4年）、はるきちゃん（6歳）のお子さん、岩谷牧場主の岩谷 金良さん。ほかにももきちゃん（6年）がおりましたがこの時カメラから外れてしまいました。背景の牛舎では140頭の乳牛を飼っている。

☆牛について岩谷さんから説明を受ける



☆まず、出産してから約300日間ミルクをしぼることや寿命はミルクをしぼるため5~6年と短いことなど乳牛について説明を受ける。

☆搾乳体験と子牛とのふれあい。



☆搾乳の指導は はるき先生。
しぼる時の指の使い方や乳房の
消毒などテキパキとこなす。



☆初めはこわごわでしたが柔らかい乳房にふれ安心した様子。お乳のでもよく指先が触れただけでお乳が出ました。



☆子牛とのふれあいは ゆうき先生。牛の前歯はないので指を入れてもかまれない。



☆子牛は生まれるとすぐ親牛から離され人工授乳される。ここでは授乳体験。子牛の吸う力におどろいた様子。



☆バターづくりに挑戦。



ミルク3：生クリーム1で調合



・ひたすら振る、結構疲れました。

・振ることで成分が分離バターになる。



・最後は岩谷牧場の新鮮なミルクで作った濃厚なアイスクリームを頂く。



・アイスクリームにブルーベリーをトッピング、酸味が変わり清涼感が増す味となりました。

・木村 理 子供育成会長から感謝の挨拶があり全日程を終了しました。